



【編集・発行】
侍浜町振興協議会
侍浜市民センター
(☎0194-58-2110)

【裏面記事】
・デイサービス「年忘れの集い」
・久慈市区長会 視察研修
・老人クラブ 全国表彰
・募集 小正月行事&そば打ち体験
・振興協議会新年交流会のお知らせ
・お知らせ

新年あいさつ



侍浜町振興協議会

会長 西村 秀雄

新年おめでとうございませう。

侍浜町民の皆さまには、平成三十年の新年をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

侍浜町振興協議会の事業は、皆さま方の協力と、事業執行にご尽力頂いた役員の方々のおかげで、ほぼ計画どおりに展開できましたことを衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、メガソーラー発電の起工式が行われました。また、大日本農会農事功績表彰式で久慈俊男さんが久慈市初の緑白綬有功章を受章しました。この外にも日推連乾椎茸箱物品評会で久慈石太郎さんが十年連続最高賞受賞、県畜産共進会ホルスタイン種の部で外谷辰也さんの最高賞受賞など、地域の方々が様々な分野で受賞しております。松寿老人クラブも全国特別表彰を受けています。

スポーツ分野では、野場知聡さんの教育奨励賞、スポーツ賞の受賞、畑中秀作さんの教育奨励賞、体育功労賞の受賞、中学校のバドミントンや柔道での活躍がありました。

侍浜町では、グラントゴルフの交流会や大会を行ってきました。また各地区公民館で百歳体操に多くの方が参加し、高齢者の健康づくりに取り組んできた年でした。

一昨年から取り組んでいます「侍ブランドプロジェクト」については、事業目的を農泊推進に変えて引き続き取り組みを行いました。内容は第二回侍マルシェを行い、二日間で二千人を超える方々から来場いただきました。また、引き続き侍ブランド商品開発、農泊推進のためのモニターツアーなどを行っております。

将来住み続けられる侍浜町を維持するためには、どうするか、という課題への対応として、侍ブランドプロジェクトを立ち上げ三年目となります。これまで二年間、国の交付金事業として行ってきましたが、三十一年度以降は国の交付金はなくなり、それ以後の事業継続をどうするか、昨年の侍浜公民館が市民センターに移行した後の事業展開と併せて検討しなければなりません。

今年もなにとぞ侍浜町振興協議会に変わらぬご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が地域や皆さまにとって良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

冬の侍浜体験 侍民泊モニターツアー 開催!

侍浜町振興協議会では、国の農山漁村振興交付金（農泊推進事業）を活用して、今後、冬の侍浜体験を検証するため、首都圏在住者等を対象に十二月十六日から一泊二日の侍浜体験モニターツアーを実施しました。

- モニターツアーの参加者
- 菅原久男さん(横浜市港北区)
 - 菅原コヨさん(横浜市港北区)
 - 船渡理香さん(横浜市港北区)
 - 船渡野乃さん(横浜市港北区)
 - 船渡音々さん(横浜市港北区)
 - 田中杏果さん(東京都町田市)
 - 山本 晃さん(横浜市港北区)
 - 村上 剛さん(東京都台東区)
 - 大野良輔さん(千葉県白井市)
 - 邱 郁芳さん(滋賀県大津市)

「侍～はまおど塾～」活動報告

侍浜町の有志団体「侍～はまおど塾～」は十二月九日（土）婚活イベント「スキルUP講座in三鉄&Xmasパーティー」を開催しました。

その後の、ロイヤルパークカワサキに場所を移し、ふじボン氏の司会進行で食事を楽しみ、ゲームやフリートークで参加者は盛り上がり、二組のカップルが成立しました。

カップルの皆さん、おめでとうございます。交際がどうもありがとうございます。



二日目は、降雪と寒さの厳しい中で、インストラクターの桑田和雄氏の案内で侍石や横沼展望所などトレイルコースを堪能しました。

横沼町内会主催の歓迎交流会と昼食会を横沼公民館で実施いたしました。



平成二十九年は、堀切地区に市内最大規模のメガソーラー発電所の工事着工が一位となりました。

五位以内のニュースは以下の通りです。今年、各分野で多くの方が表彰された記事が多くありました。表彰された皆様改めておめでとうございます。

平成二十九年 侍浜町 五大ニュース 決定!!

『Water 2017』地域おこし協力隊の藤織ジュンさんと侍～はまおど塾～が久慈市PRコマースヤルを制作した。CMはIAT岩手朝日テレビで年間三十回放送されます。是非、ご覧ください。お見逃しなく。

- 第一位 堀切地区に市内最大規模のメガソーラー発電所の工事着工
- 第二位 大日本農会農事功績表彰式で越戸俊男さんが久慈市初の「緑白綬有功章」を受章
- 第三位 日推連乾椎茸箱物品評会で久慈石太郎さん十年連続最高賞受賞
- 第四位 侍浜公民館から侍浜市民センターへの移行
- 第五位 第二回侍マルシェ開催

九回目を迎えた

「年忘れの集い」



年末の恒例行事となった「デイサービスセンターさむらい」の「年忘れの集い」が、去る十二月十六日（土）盛大に開催された。

郵便局長の山下豊さんと駐在所長の岡道陽介さんは、猛練習(?)のマジックショーを園児と掛け合いで演じ、会場の笑いを誘っていた。日本地下石油備蓄久慈事業所からは山中研一さんが飛び入りで参加、アカペラで「北国の春」を熱唱した。

保育園男児は羽織はかまでりりしく踊り、女兒は着物姿で優雅に舞うと、会場に感嘆のため息が広がった。

昨年十月、松寿老人クラブ（桑田和雄会長、会員八十七名）では、積極的な活動、参加者会員増などが全国的に珍しいとして、その功績が認められ、全国表彰に輝いたことから、このほ

ど盛大なお祝いの会が開かれました。



明るく楽しく元氣な侍浜クラブにした「い」とその大きな抱負を語ってくれました。

平成二十九年 久慈市区長会視察研修

十月十九日・二十日 青森県六ヶ所村



雨の予報にもかかわらず、うす曇りの穏やかな天気に一安心。メンバーが揃った処で会長挨拶と日程の連絡がありバスは一路六ヶ所村へ。会場の村交流プラザ、スワニー到着の印象、立派の感で見上げながら会場案内され入る。村の概要、行政文書配布、質疑応答の順に進み三船会長のお礼の挨拶の後、村特産の焼酎の小瓶を戴き修了となりました。

久慈とは少し違う処もあり、お互い議論もかみ合わない所もありましたが質疑応答で何とかカバー出来ました。違いの主なる所は聞き配布月一回、任期一年、募金取りまとめ無し、名称は連絡員、選任方法は町内会長又は自治会長を村長が委嘱と言う所でした。その他まだ少し有りましたが時間の都合もあり遠慮した感じでした。

村の概要で人口が横ばいと聞き、又財政は黒字で近隣市町村と比べ豊かで生活インフラ整備も進んでいると聞いて羨ましく思いました。

むつ小川原開発、原子燃料サイクル施設など国の事業を、村を挙げて賛否の大激論の末受け入れ、福島の大例を見るまでもなく大変なリスクと背中合わせの現実に厳しくリスク管理をし今の繁栄が有るのかなと思ひ、先の事は分かりませんが今は上手くいっている様に思いました。



夜は浅虫温泉で親睦を深め、又体を癒し帰りは八甲田のブナの木立の中に見る紅葉は艶やかに鮮やかで心癒されました。 十和田ゴールドラインや奥入瀬溪流の紅葉を楽しみながら午後四時過ぎに市役所到着の二日間でした。 浅水 満男

全国表彰盛大に祝う 侍浜松寿老人クラブ

桑田和雄会長は「クラブはお陰様で全国表彰されました。戊年の本年は五十周年を迎えます。会員百名の目標と、台湾旅行も計画中。

五穀豊穡を祈る小正月行事として久慈地方でも行われてきた「みずき団子づくり」を今年も実施します。みずき団子づくりとあわせて、好評の「そば打ち体験」も行います!!

世代間交流事業 小正月行事 & そば打ち体験

一、日時 平成三十年一月十五日（月）午前九時から十二時まで
二、場所 侍浜市民センター
三、対象 小学生・父母・祖父母
四、定員 三十名程度
五、参加費 無料
六、持ち物 エプロン・三角巾・タオル
七、共催 侍浜町振興協議会健全育成部、侍浜町老人クラブ連合会

平成30年 侍浜町新年交賀会

1月14日(日) 開催

恒例の侍浜町新年交賀会を1月14日に侍浜町振興協議会の主催で開催します。多くの町民の皆様のご出席をお願いします。

日時 1月14日(日) 午前11時～
会場 侍浜市民センター
会費 一人 2,000円
申込み 1月6日までに町内会長または事務局長(侍浜支所)まで
問い合わせ 事務局(侍浜支所 ☎58-2111)まで

◇問い合わせは 侍浜市民センター (電話五八一二二一〇)まで。

お知らせ

- 〇一月(睦月)
- 一日 元日
- 三日 久慈市消防団出初め式
- 三日 麦生町内会新年交賀会
- 四日 官公庁仕事初め
- 五日 小寒
- 六日 柔道教室稽古始め、鏡開式
- 七日 久慈市成人式
- 八日 県南駅伝大会侍浜中出場・大船渡市)
- 八日 成人の日
- 一〇日 侍浜地区健康相談日
- 一二日 冬休み侍浜子ども教室(公民館事業)
- 一四日 侍浜町振興協議会新年交賀会
- 一五日 小正月
- 一五日 みずき団子づくり(公民館事業)
- 一六日 侍浜中三学期始業式
- 一八日 侍浜小三学期始業式
- 二〇日 大寒
- 二五日 侍浜小冬休み作品展
- 二五日 侍浜PTAリサイクル
- 二六日 公立高校推薦入学検査
- 二六日 侍浜小三年社会科見学

